

## 高校出前講座『G1 プロジェクト』実施要項

### 1 取組の概要

新たに有権者となる高校生に議会や議員を身近に感じてもらい、もって主権者としての政治参加意識の醸成を図るため、執行部との連携のもと、議員が学校現場を訪問し、生徒と意見交換を行う高校出前講座『G1 プロジェクト』を試行的に実施する。

### 2 実施内容

- (1) 日 時 令和6年11月21日(木)  
                   【1回目】午後1時45分から午後2時35分  
                   【2回目】午後2時45分から午後3時35分
- (2) 会 場 鳥取県立倉吉総合産業高校(倉吉市小田204-5)
- (3) 参加議員 鳥取県議会タスクフォース委員
- (4) 対象生徒 2年生約160人(@38人×4クラス)  
                   ※@50分(1限)×2回(2クラス約80人ごとに分けて実施)

### 3 出前講座の流れ

時間	学習内容							
5分	導入) あいさつ、自己紹介							校長、議員
—	グループ 1	グループ 2	グループ 3	グループ 4	グループ 5	グループ 6	グループ 7	全体進行 =議員
	※各グループ:議員1名につき、生徒7名~10名程度							
10分	○アイスブレイク 自己紹介(好きなもの紹介) ○県議会・議員活動等の紹介 図解資料に基づき議員が説明							議員、生徒
25分	○意見交換 テーマ) 議員に伝えたいこと、聞いてみたいこと ※生徒は、事前配付のワークシートに発言内容を準備して参加 ※上記テーマを切り口に、幅広い内容で意見交換を実施							議員、生徒
10分	○感想発表(授業の振返り) 参加の生徒代表1名(感想・謝辞) 議員代表者3名(1回目・2回目で交代) 前田リーダー(全体謝辞)							議員、生徒 (代表者)
計50分								

### 4 鳥取県議会タスクフォースについて

議長提案を受けて、昨年10月、県議会に設置された新組織(設置年月日:令和5年10月13日)。本年3月の県議会議員補欠選挙で当選した議員も含め、当選回数が1回目となる議員の中から議長が選任した7名で構成。

鳥取県議会議会改革推進会議からの委任を受け、学校現場で行われる主権者教育等と県議会とが連携した取組について検討を行ってきたもの。

### 5 G1 プロジェクトについて

この取組は、県議会議員が直接一人ひとりの高校生と向き合い、意見交換を行うことで、高校生の皆さんが県議会や県議会議員を身近に感じてくれるきっかけとなると共に、民主主義に参画している一人であるということを再認識し、主権者としての政治参加の意識が向上することを願って行うもの。

名称の「G1」は、「議員」や「議会」が一丸となって行う取組であり、その頭文字の「G」と、議員「一人ひとり」が生徒と向き合い、また、高校生「一人ひとり」が民主主義に参画している大切な「一人」であるという意味をこめた「1」を合わせたもの。